

1. 園の教育目標

- ①明るく ②心ゆたかに ③たくましく

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保護者に伝わる発信方法への取り組み
 幼児の体力向上
 子どもが主体的に取り組める保育環境作りに努める
 年間計画に沿って訓練を行い、安全・防犯・防災の対策の強化

【3】の評価結果の表示方法
 A 十分達成されている
 B 達成されている
 C 取り組まれているが、成果が十分でない
 D 取り組みが不十分である

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	A	B	C	D	計	理由
◎保護者に伝わる発信が積極的にできたか。 ・年少の始めや行事前など、忙しい時期にも発信していく ・時期によってHPの更新に偏りがないようにする。確認をして意識して行う。 ・学期に数回、写真やコメントの掲示を行うようにする。 ・感想・意見を得て、次に活かす。	0	7	7	0	14	・フリーがない分、掲示板の写真貼り付けが滞る。 ・ブログの写真掲載は以前よりこまめに行われている。 ・行事後にはアンケートを行い、反省・改善をしている。 ・HPの更新も出来るだけしたが、回数など増やせたらと思った。 ・ブログUPの写真を撮るのを忘れないようにし、ブログ発信にも積極的に取り組むようにした。 ・HPにアップするものを決めているが、中々アップすることを忘れていたり、一気に更新したりしてしまう時がある。 ・HPの更新をできなかった週もあり、毎週更新し、保護者が様子を見れるようにするべきだった。 ・行事前など忙しい時期にHPの更新が減ってしまった。 ・写真を撮ろうと意識はしているが、加配の先生がいない時は撮るのが難しい。 ・HPの更新が少ないのでは、という意見を保護者からあった。 ・学年でそれぞれ声をかけ、意識していた。時期によって偏りがある時も確認し、調整してきたが、更新に遅れがあった。
◎体を動かせる遊びを伝達し合い、子ども達と一緒に取り組めたか。 ・29年度の取り組みを継続する ・保育者が色々な遊びを子ども達と一緒にし、子ども達だけで遊べるようになる ・行事前でも取り組めることを出しあい、実践する。 ・幼児の体力向上 ・研修への参加	1	11	2	0	14	・29年度の伝達が十分でないところがあった。 ・子どもの動きをよく観察し、学ぼうとする姿勢がある。 ・研修や体育指導などを通し、色々な遊びを知り、子どもに伝えているが、それが浸透するまでに至っていない。 ・行事前でも秋のことについて子ども達と考えながら、進めていたり、リズムジャンプや縄跳びなど子ども達とした。 ・研修に参加することによって、知識を深めているが、実践する機会が少ない。 ・集団遊びやリングバトンを使っての遊びに取り組むことに意識した。 ・子ども達と一緒にリズムジャンプに取り組む、研修に参加したことで、遊び方や応用を伝え、実践することができた。また、子ども達が跳び方を考え、友達同士で取り組むことができた。 ・ぞうきん掛けをする回数が少し減ったように思う。 ・1クラス撮っていないとHPをアップすることができないことが難しい。 ・今年に入ってから健康チームからの伝達は少なく、なぜその遊びや準備をしているかは伝わっていないように思う。
◎子供が主体的に取り組める保育環境づくりができたか。 ・自ら発見し、夢中になって探索し遊べる環境作り ・体験したことを振り返って、興味を深め次の遊びや活動に広げていく ・環境を整えることで子どもがどう変化するのか、どのような環境があるのか各自学んだり、職員で共有していく。 ・絵画のカリキュラムの見直し。子どもの様子に合う内容を考えていく。 ・部屋の掲示、図鑑の活用 ・やってみたいと思う環境づくり ・特別支援児の共通理解	1	5	8	0	14	・絵画の見直しから、日々の保育に関しても環境や保育の進め方など考慮してきている。変えてきたことに関しての振り返りや考察を詰めていく必要がある。 ・子どもの遊び方、成長を見て玩具や環境は変えていったが、十分ではない部分もあった。 ・子ども達に主体的な行動を促すための働き掛けをすることが難しかった。“主体的”という言葉が難しい、分からないと思っている先生が多く試行錯誤している途中である。 ・少しずつ主体的に遊べるよう、取り組めるよう保育を進めたり、環境を整えたりしているが、まだ進めていく保育が多い。子ども主体になっていないことが多い。 ・自然物を使っての製作により、子ども達が自ら材料となる物を拾い集め工夫して作り上げていた。 ・動きや自由に表現することの大切さを目的とし“ぬたくり”を年間を通して行ってきた。 ・学年では共有していることは多いが、他学年との報告があまりできていない。 ・特別支援児に対して、成長過程を報告し合い、共有するよう心掛けた。 ・各部屋でも子ども達がやってみたいと思うような環境を整えていく必要がある。 ・幼稚園全体で学んだことを実践することが不十分だった。
◎安全・防犯、防災について、計画に沿った訓練を行い、さらに知識を得ることができたか。 ・職員間の共通理解 ・臨機応変に動けるようにする ・結果や反省から色々なパターンを想定し考え取り組んでいく ・安全・防犯・防災の対策の強化	3	11	0	0	14	・子どもにも訓練時の動きが身に付いてきている。 ・前年度とは違ったパターンでの訓練も入れると良い。 ・1年を通して子ども、職員共に浸透した。 ・地震があった際、移動したり避難をするのができていた。 ・訓練を事前に知らせなくても、落ち着いて参加することができていた。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	今後の具体的な取り組み
・自然物に触れる機会が少ない	・レモンバームなど育てているが子ども達が気づくよう発育の様子を知らせる。野菜は収穫することが多いが、世話は職員で行っているの で、水やりをするなど声掛けをする。
・保護者への発信 ・HPの更新に偏り	・HPの更新が偏らないようにするには、どうしていくべきか考える。 ・一週間の職員同士の打ち合わせで、何を更新するか決めて、偏りを 無くしていく。 ・忙しい時期こそ、子ども達の様子を発信できるようHPの確認を丁寧 に行う。 ・週案の際にどの活動の写真をとるのか打ち合わせをし、必ず週1回 更新するようにする。 ・隣のクラスの先生や加配の先生に声をかけ、何枚かだけでも撮って もらえるようにする。
・保育環境作り	・先生、各自の学びを職員間で共有し、子ども達が自主的に活動を広 げていけるよう、環境構成を考え、出来る所から変えていく。 ・一斉での活動を少しずつ見直し、子ども達の深い学びがにつながるよ う、全体のカリキュラムを見直す。
・幼児の体力向上	・研修を受けて知識を得る。空いた時間を利用し、少しでも運動遊び を取り入れていく。 ・全体で共有できるよう、朝礼や放課後に全体で説明する時間を作る。 学年だとフリーの先生には伝達されないの。 ・園庭のサーキットなど、変えているが、もっとレパトリーを増やして 子どもが色んな遊びができるようにしたい。
・防災・防犯訓練	・地震、火災、不審者など色々な状況での訓練が必要。例えば、昼食 中など ・職員、子どもには知らせずに訓練する月をつくる。(事前に知らせた 時とは違う色々な反省・改善点が出てくると思われる。)
・主体的な取り組みについて	・各学年では話し合っているが、他学年への報告が少ない。3学年の 繋がりを理解した上で考えるべきなので、報告する時間を作る。 ・主体的な取り組みが学年の活動にとどまりがち。縦割り活動も視野 に入れて考えていく。 ・研究に積極的に参加し、知識を増やし、どんどん実践していく。
・個別対応を要する幼児への配慮	・一人一人の個性と発達の経過を見極め、保護者と連携しながら取り 組んでいく。 ・専門家(作業療法士等)のアドバイスを受ける。
・自己点検・自己評価	・職員自らが向上心を持ち、日々の保育に携わっていけるよう自己研 鑽に努める。また、そのような職場作りに務める。
・異年齢交流	・保育者が中に入り、きっかけ作りをしながら異年齢の関わりを増や し、小さな子の面倒を見たり、年長児に憧れの気持ちがもてるよう にする。
・伝達事項等 ・職員間での共有	・体育に関わらず、伝達事項を全体で共有できる機会を増やした方が 良い。計画的に伝達会を入れる。 ・保育の中に継続して学んだ遊びを取り入れていく。職員間で伝え合 う時間を設ける。